

# ブックオフコーポレーション株式会社

〔 自 2019年4月 1 日  
至 2020年3月31日 〕

# 計算書類

## 貸借対照表

(2020年3月31日 現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>( 資 産 の 部 )</b>		<b>( 負 債 の 部 )</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>18,101</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>15,554</b>
現金及び預金	2,219	買掛金	463
売掛金	1,803	短期借入金	6,191
商品	11,800	1年内返済予定長期借入金	3,116
前払費用	1,137	リース債務	415
その他	1,142	未払金	2,364
貸倒引当金	△0	未払法人税等	165
		未払費用	1,485
<b>固 定 資 産</b>	<b>16,111</b>	前受金	58
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>5,751</b>	預り金	463
建物	3,694	売上割戻引当金	436
構築物	173	店舗等閉鎖損失引当金	27
工具、器具及び備品	389	その他引当金	346
土地	141	資産除去債務	17
リース資産	1,351	その他	1
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>1,150</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>9,746</b>
のれん	7	長期借入金	6,047
ソフトウェア	997	リース債務	1,175
その他	145	店舗等閉鎖損失引当金	9
		資産除去債務	2,201
		その他	311
		<b>負 債 合 計</b>	<b>25,300</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,209</b>	<b>( 純 資 産 の 部 )</b>	
投資有価証券	31	<b>株 主 資 本</b>	<b>8,912</b>
関係会社株式	282	<b>資 本 金</b>	<b>100</b>
関係会社長期貸付金	404	<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>2,831</b>
繰延税金資産	1,325	資本準備金	100
差入保証金	7,067	その他資本剰余金	2,731
その他	158	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>5,980</b>
貸倒引当金	△60	利益準備金	17
		その他利益剰余金	5,963
		別途積立金	300
		繰越利益剰余金	5,662
<b>資 産 合 計</b>	<b>34,212</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>8,912</b>
		<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>34,212</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		75,979
売上原価		30,409
売上総利益		45,569
販売費及び一般管理費		44,696
営業利益		872
営業外収益		
受取利息	28	
受取配当金	6	
設備賃貸収入	332	
自動販売機等設置料収入	120	
古紙等リサイクル収入	326	
その他	76	890
営業外費用		
支払利息	163	
設備賃貸原価	307	
その他	22	493
経常利益		1,269
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	7	
投資有価証券評価損	2	
店舗等閉鎖損失	69	
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	2	
固定資産除却損	217	
減損損失	592	
災害による損失	43	
関係会社清算損	18	953
税引前当期純利益		316
法人税、住民税及び事業税	166	
法人税等調整額	234	400
当期純損失		△84

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| ① 子会社株式及び関連会社株式……………      | 移動平均法による原価法 |
| ② その他有価証券<br>時価のないもの…………… | 移動平均法による原価法 |

##### (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

###### 商品

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 書籍・ソフト(中古)、衣料品及び子供用品等…………… | 総平均法による原価法    |
| 書籍(新品)……………                | 売価還元法による原価法   |
| スポーツ用品等……………               | 主に個別法による原価法   |
| 物流センター保管商品……………            | 主に移動平均法による原価法 |
| その他……………                   | 主に移動平均法による原価法 |
- (貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産(リース資産を除く)

###### 定率法

但し、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法

###### 主な耐用年数

- |             |        |
|-------------|--------|
| 建物          | 10～22年 |
| 構築物         | 10年    |
| 工具、器具備品及び備品 | 4～10年  |

##### (2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

###### 主な耐用年数

- |             |      |
|-------------|------|
| のれん         | 3～5年 |
| 社内利用のソフトウェア | 5年   |

##### (3) 長期前払費用

均等償却

###### 主な償却年数

5年

##### (4) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

- |                     |  |
|---------------------|--|
| (1) 貸倒引当金……………      | 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |
| (2) 売上割戻引当金……………    | 店舗で発行したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額を売上割戻引当金として計上しております。                            |
| (3) 店舗等閉鎖損失引当金…………… | 店舗等の閉鎖に伴い発生する損失に備えるため、合理的に見込まれる損失額を計上しております。                                       |

#### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### 消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

1.有形固定資産の減価償却累計額		13,122百万円
2.保証債務		
以下の債務に対し、保証を行っております。		
(親会社)		
ブックオフグループホールディングス㈱	借入債務	4,103百万円
(関係会社)		
BOK MARKETING SDN.BHD.	割賦債務	4百万円
3.関係会社に対する金銭債権及び金銭債務(区分表示したものを含む)		
	短期金銭債権	90百万円
	長期金銭債権	154百万円
	短期金銭債務	953百万円
	長期金銭債務	1,492百万円

## 3. 損益計算書に関する注記

1.関係会社との営業取引	売上高	373百万円
	仕入高	5百万円
	販売費及び一般管理費	1,457百万円
2.関係会社との営業取引以外の取引		64百万円

## 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

1.当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数	普通株式	20,547,413株
2.当事業年度末における自己株式の種類及び株式数	普通株式	-株
3.剰余金の配当に関する事項		
(1)配当金支払額		
① 2019年6月27日開催の第28期定時株主総会において次の通り決議しました。		
・普通株式の配当に関する事項		
イ 配当金の総額	410百万円	
ロ 配当の原資	利益剰余金	
ハ 1株あたりの配当額	20円	
ニ 基準日	2019年3月31日	
ホ 効力発生日	2019年6月28日	
② 2020年3月2日の臨時株主総会において、次の通り決議しております。		
・普通株式の配当に関する事項		
イ 配当金の総額	1,000百万円	
ロ 配当の原資	利益剰余金	
ハ 基準日	2020年3月27日	
ニ 効力発生日	2020年3月31日	

(2) 配当財産の金銭以外の配当

2020年3月2日の臨時株主総会において、次の通り決議しております。

・ 現物配当に関する事項

イ 配当財産の種類

関係会社株式  
関係会社短期貸付金

ロ 配当財産の帳簿価額

関係会社株式 1,113百万円  
関係会社短期貸付金 770百万円

ハ 効力発生日

2020年3月31日

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:百万円)

繰延税金資産

貸倒引当金	21
売上割戻引当金	150
棚卸資産	332
関係会社株式	195
減損損失	439
資産除去債務	766
繰越欠損金	448
その他	363
繰延税金資産小計	2,717

評価性引当額	△1,164
--------	--------

繰延税金資産合計 1,553

繰延税金負債

有形固定資産 △227

繰延税金負債合計 △227

繰延税金資産(負債)の純額 1,325

## 6. 金融商品に関する注記

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しております。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

非上場株式は、業務上の関係を有する企業への出資であり、当該企業の信用リスクに晒されております。

当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

差入保証金は、主に店舗の賃貸借契約による差入保証金であり、賃貸主の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

短期借入金、長期借入金及びリース債務は、金利の変動リスク及び資金調達リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿った適切な資金運用を行うことでリスク低減を図っております。

#### (3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。

当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

(単位:百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	2,219	2,219	—
(2) 売掛金	1,803	1,803	—
(3) 差入保証金	7,067	6,896	171
資産計	11,090	10,919	171
(1) 買掛金	463	463	—
(2) 短期借入金	6,191	6,191	—
(3) 未払金	2,364	2,364	—
(4) 長期借入金(*1)	9,164	9,206	△ 42
(5) リース債務(*1)	1,591	1,686	△ 95
負債計	19,775	19,913	△ 138

(\*1) 1年以内に返済予定の長期借入金及びリース債務を含んでおります。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券デリバティブ取引に関する事項

#### 資 産

##### (1) 現金及び預金、並びに(2) 売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (3) 差入保証金

差入保証金の時価については、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、国債の利率で割り引いた現在価値によっております。

#### 負 債

##### (1) 買掛金、(2) 短期借入金及び(3) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (4) 長期借入金及び(5) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額
関係会社株式	282百万円
非上場株式	31百万円

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「2. 金融商品の時価等に関する事項」には含めておりません。

## 7. 関連当事者との取引に関する注記

別紙参照

## 8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	433円73銭
1株当たり当期純損失	4円09銭

## 9. その他の注記

減損損失

(1) 減損損失を認識した資産グループの概要

用途	種類	場所	減損損失
店舗等	建物等	BOOKOFF SUPER BAZAAR 307号枚方池之宮店 ほか	592百万円

(2) 減損損失の認識に至った経緯

営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により、回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(3) 減損損失の内訳	建物及び構築物	433百万円
	その他	158百万円

(4) 資産のグルーピングの方法

キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

(5) 回収可能価額の算定方法

店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるものは、回収可能価額を零として評価し、それ以外については、将来キャッシュ・フローを5.5%で割り引いて算定しております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年3月以降、一部店舗において休業等の対応を行ったため、将来キャッシュ・フローの算定に影響を及ぼしております。これらの影響は、内閣官房から公表されている緊急事態宣言や政府・各自治体の取り組み、当社の4月の営業店舗の状況並びに5月以降順次営業を再開していることを参考にし、2020年8月より当社の売上高等が感染拡大前の水準まで回復すると仮定して将来キャッシュ・フローを算定しております。



関連当事者との取引に係る注記

1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	ブックオフグループホールディングス(株)	(被所有)直接100%	役員の兼任	グループ資金取引(注1)	557	短期借入金	241
				資金の貸付(注2)	770	-	-
				利息の受取(注2)	9	-	-
				資金の借入(注2)	2,550	短期借入金	150
						1年以内返済長期借入金	419
						長期借入金	1,481
				利息の支払(注2)	24	-	-
債務保証(注3)	4,103	-	-				

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 当社は、グループの資金効率化のため親会社であるブックオフグループホールディングス(株)に資金を集約しており、この資金取引金額はグループ資金取引に係るものであります。なお、グループ資金取引に係る取引純増減額を記載しております。
- (注2) 資金の貸付・借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
- (注3) ブックオフグループホールディングス(株)の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

2. 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
その他の関係会社の子会社	丸善雄松堂(株)	(被所有)直接6.78%	役員の兼任	店舗閉鎖に伴う原状回復工事高(注2、3)	79	未払金	104
				店舗設備等の取得(注2)	880		

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) その他の関係会社である大日本印刷(株)が議決権の53.54%を直接保有している丸善CHIホールディングス(株)の子会社であります。
- (注2) 店舗設備等の取得については、同社以外からも見積り入手し、通常行われている取引の価格を参考にしてその都度交渉のうえ決定しております。
- なお、取引金額には、リース会社とのリース契約により、取得した金額を含めております。
- (注3) 取引金額は、取引総額で表示しておりますが、当事業年度の損益計算書では取引総額から資産除去債務を控除した純額で表示しており、特別損失に含まれる金額は46百万円であります。